



堂々発表ができた学習発表会

校長 松井克仁

11月25日(土)の学習発表会には、たくさんの保護者・地域の方に来ていただき、子供たちのがんばりを見ていただきました。総合的な学習の時間や生活科でこれまで学習してきたことを、聞く人に伝えるようにするにはどうしたらよいかを考え、発表内容や発表の仕方を工夫しました。低・中学年では、言葉での説明だけでなく、寸劇や実演を交えながら視覚的に説明しました。高学年は、地域の方にインタビューしたり、講師の方から聞いたり、本や漫画等を読んで調べたりしたことをもとに、さらに自分なりの考えを入れながら詳しく説明しました。一人一人のセリフが長いのに原稿を見ずに堂々と説明できる姿はさすが高学年だと感じました。会の冒頭で、「それぞれの発表から地域のよさを学びましょう」という目当てが示されましたが、どの学年の発表からも地域のよさや学習内容のよさを感じることができました。



【1年生の発表「昔遊び」】

保護者や地域の皆様方には、子供たちをたくさん褒めていただきありがとうございました。きっと子供たちの大きな自信になったことと思います。これからもふるさと学習や身近な生活にかかわる内容について学習を進めていきます。保護者や地域の皆様には、今後も子供たちのよき講師・相談役となりご支援いただけると嬉しいです。ありがとうございました。

ひびきあい活動へのご協力を！

法務省が定める「第75回人権週間(12/4～12/10)」に合わせて、明智小学校では「ひびきあい活動」を実施しています。活動の内容は、①ひびきあい宣言、②よさ見つけ、③人権ビデオ視聴、④人権講話、⑤活動のまとめと振り返りの5つです。この中で中心となるのは、全校で取り組む「よさ見つけ」です。よさ見つけはどの学級でも日頃から取り組んでいますが、この期間は見つけた仲間のよさを職員室前の「よさ見つけの木(写真参照)」に掲示しました。そして、昼の放送で一部のよさ見つけを紹介しました。「〇〇さんは、掃除中に低学年の子に自分の姿で手本を示していたので、私もまねしたいと思いました。」など、仲間のよさを見つけ、それを自分にも取り入れていこうとする素敵な姿が見られます。昼の放送で紹介されるよさ見つけも、聞いていると心が温かくなってきます。



【たくさんのよさが書かれたやさしさの木】

また、保護者や地域の皆様にも子供たちのよさ見つけへのご協力をお願いしました。家庭や地域で見つけた子供のよさを紹介していただけたらと思います。どの子供にも必ずよさはあります。しかし、子供自身はそのよさになかなか気が付かないものです。周りの大人が「〇〇できるところがあなたのいいところだよ。」などと伝えることで、子ども自身が自分のよさを自覚することができます。我が子の悪いことばかりがつついてい気になってしまいがちですが、この取組を通して子供のよさを1つでも多く見つけていただけると幸いです。また、それが子供たちの自己肯定感の高まりへとつながります。ご理解ご協力をお願いいたします。